

2014年3月期 決算説明会

2014年 5月16日



日本ガイシ株式会社

NGK INSULATORS, LTD.

本日のプレゼンテーション

- 2014年3月期 連結決算概要
- 2015年3月期 連結業績見通し
- セグメント別業績見通し
- 重点課題、新製品売上高比率
- 設備投資、財務状況

	(億円)	13年3月期	14年3月期	前期比
売上高		2,528	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3,050</div> 3,087	+22%
営業利益		207	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">420</div> 443	+114%
経常利益		220	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">450</div> 458	+108%
当期純利益		114	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">270</div> 270	+137%

 は14年1月公表値

前期比増収、利益倍増 為替円安が寄与

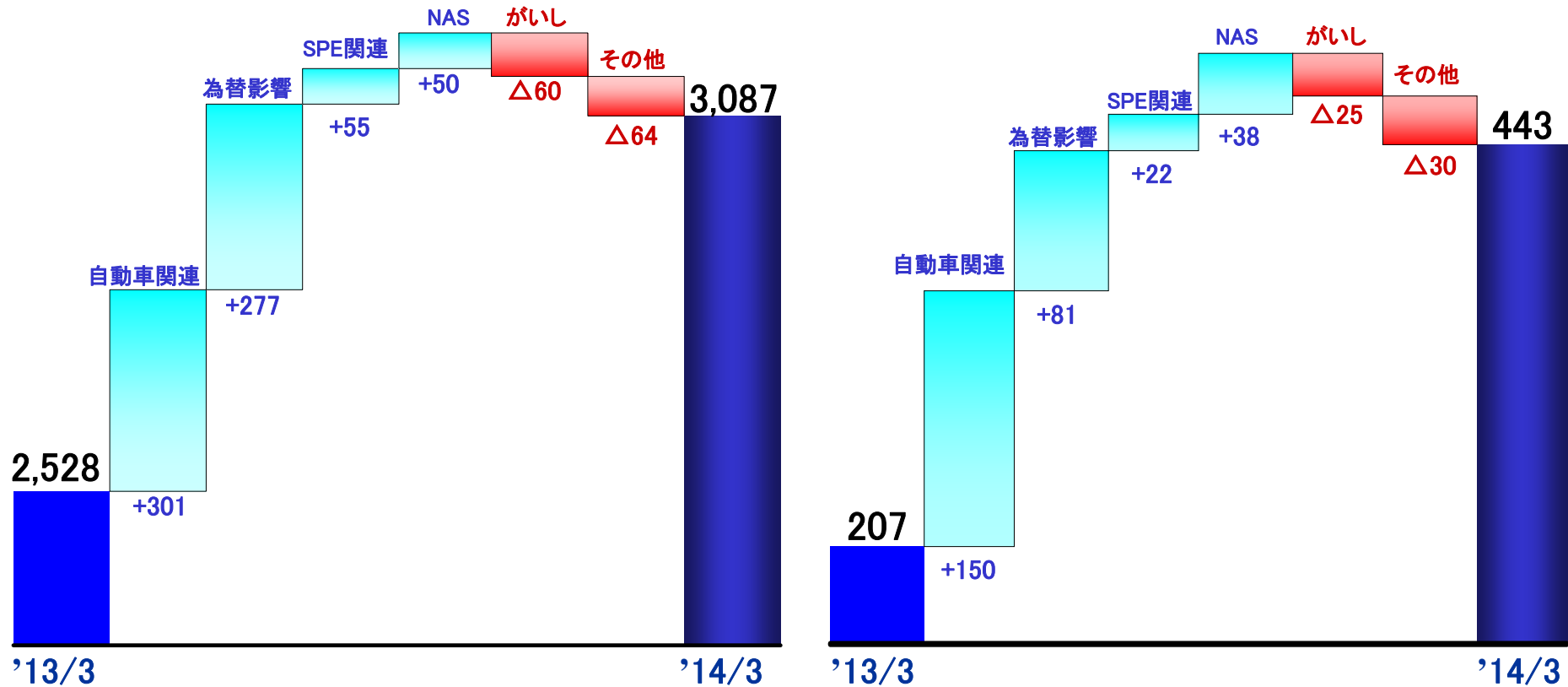
- セラミックス 米国・中国市場の堅調な自動車販売や中国のトラック向け新規排ガス規制適用により自動車関連製品の需要増
- エレクトロニクス 半導体製造装置用セラミックス製品の需要増
- 電力関連 N A S 電池の出荷再開により赤字縮小
- 特別損失：がいし事業の固定資産減損（2 Q、3 Q）、中国子会社の解散を決定（4 Q）



売上高

営業利益

(億円)



	'13/3	'14/3
為替レート	83円 /USD 108円 /EUR	100円 /USD 134円 /EUR



(億円)	14年3月期	15年3月期	前期比
売上高	3,087	3,400	+10%
営業利益	443	480	+8%
経常利益	458	500	+9%
当期純利益	270	340	+26%

前期比増収増益

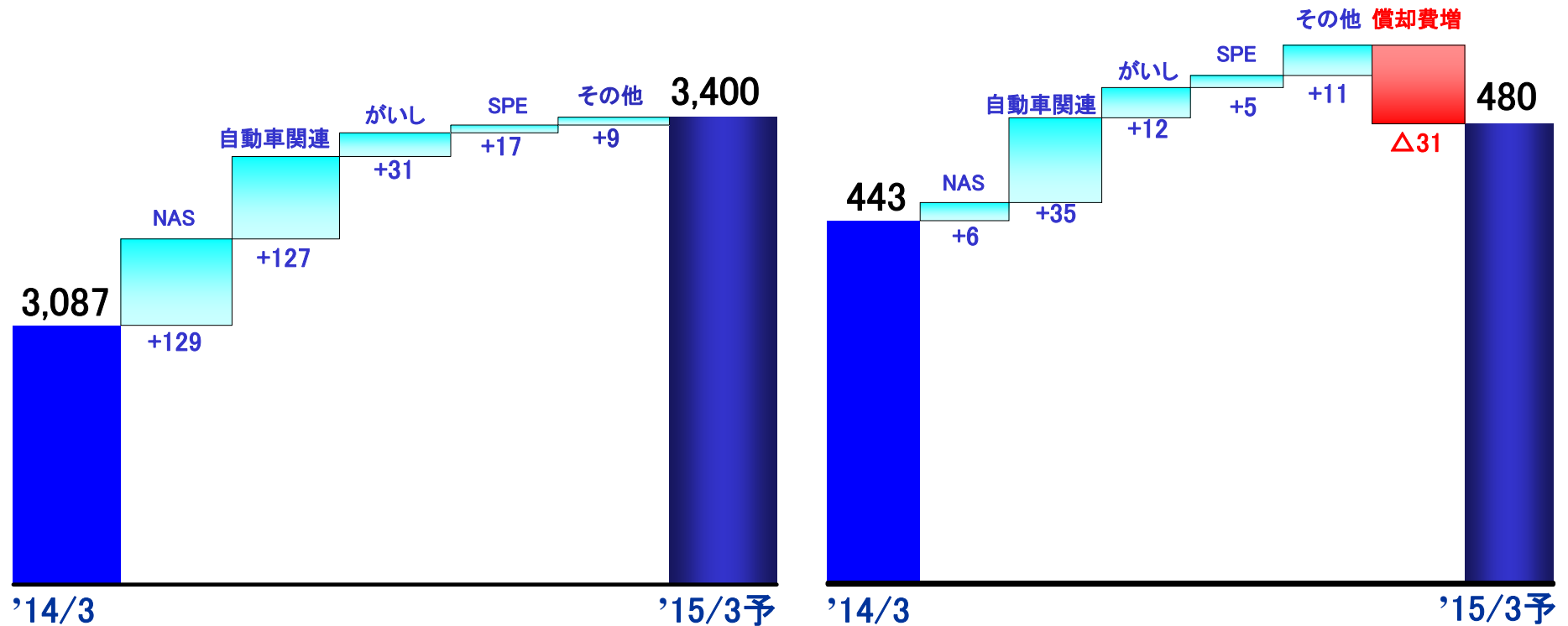
- セラミックス 排ガス規制強化を背景に自動車関連製品増加も競争激化や増産投資の費用が先行し小幅増益
- エレクトロニクス モバイル製品市場の拡大を背景に半導体製造装置用セラミックス製品の需要増
- 電力関連 NAS電池海外案件出荷により大幅増収がいし再構築により収益改善



売上高

営業利益

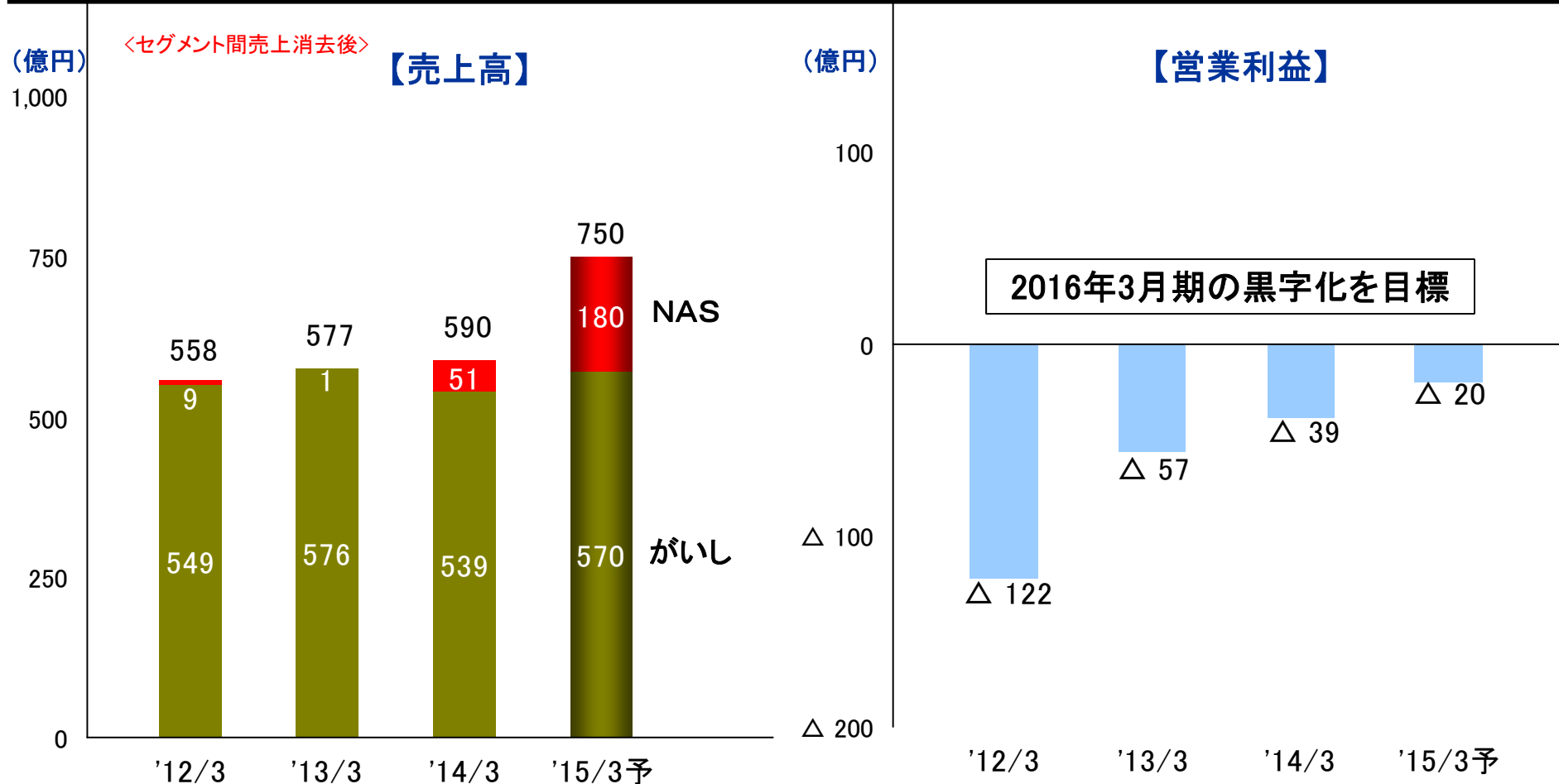
(億円)



	'14/3	'15/3予
為替レート	100円 /USD 134円 /EUR	100円 /USD 135円 /EUR



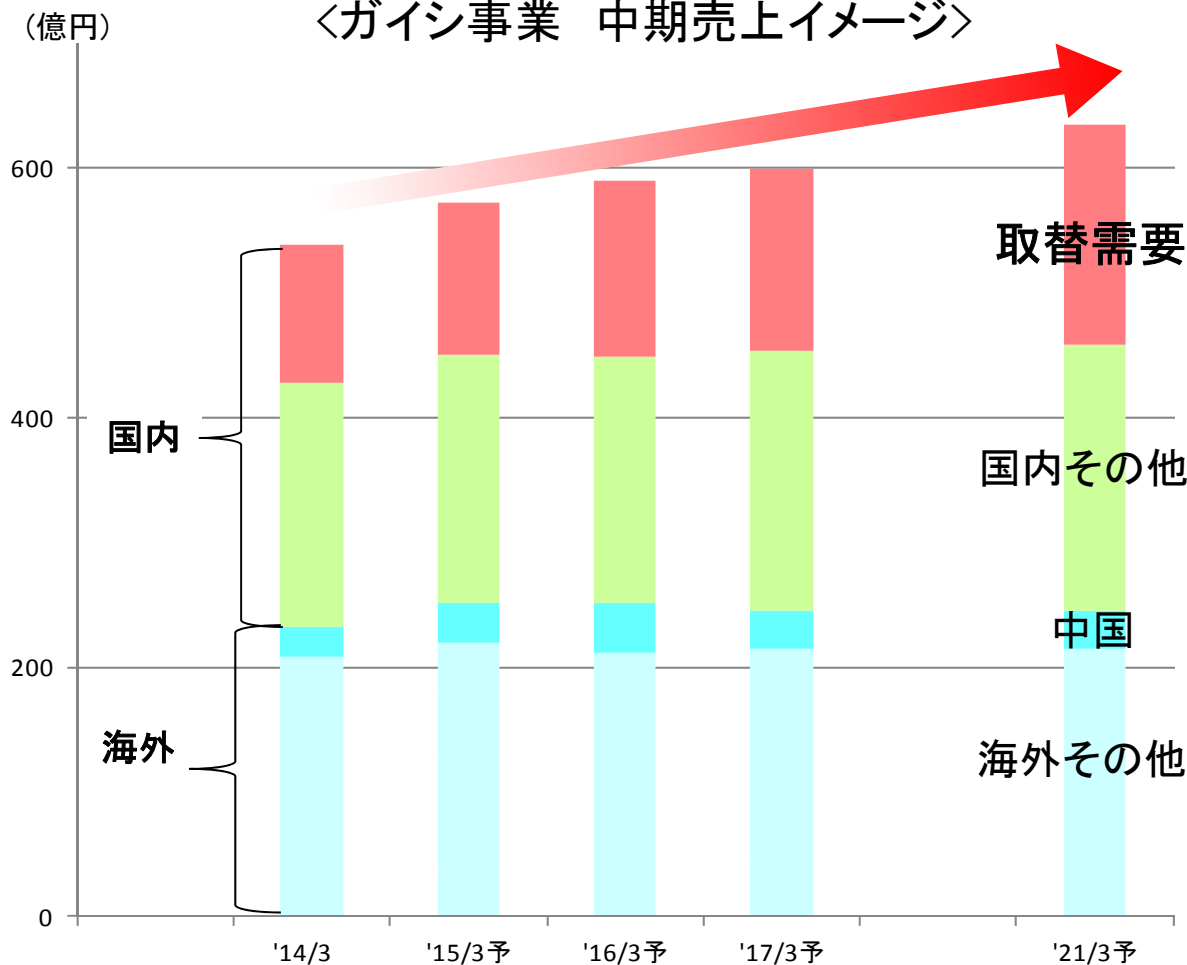
- がいし
 - ・国内は電力会社の設備投資抑制が継続。取替需要の取り込みと更なるコストダウンにより収益改善を図る。
 - ・海外は東南アジア・中近東など堅調。14年3月期より大口案件の繰り越しもあり増収。
- NAS
 - ・2015年3月期にイタリア・アブダビ向け等大口出荷を見込む。
 - ・補助金を追い風とした継続的な受注獲得、設計・製造コストダウンにより早期黒字化を目指す。



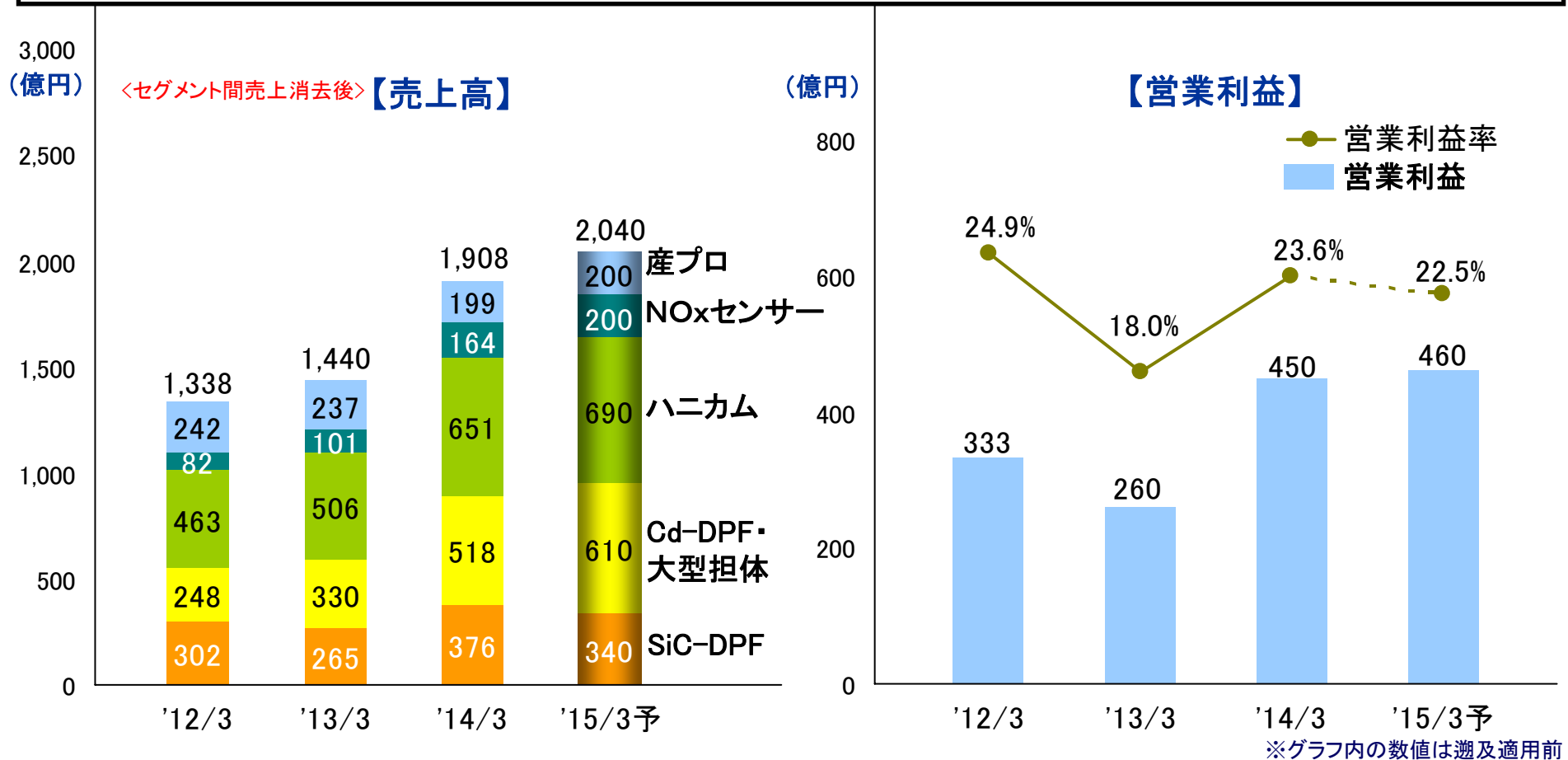
※グラフ内の数値は遡及適用前

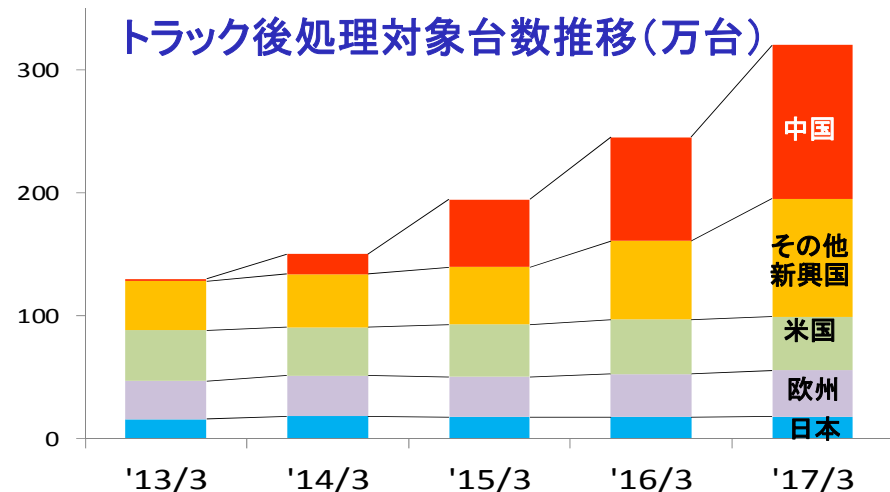
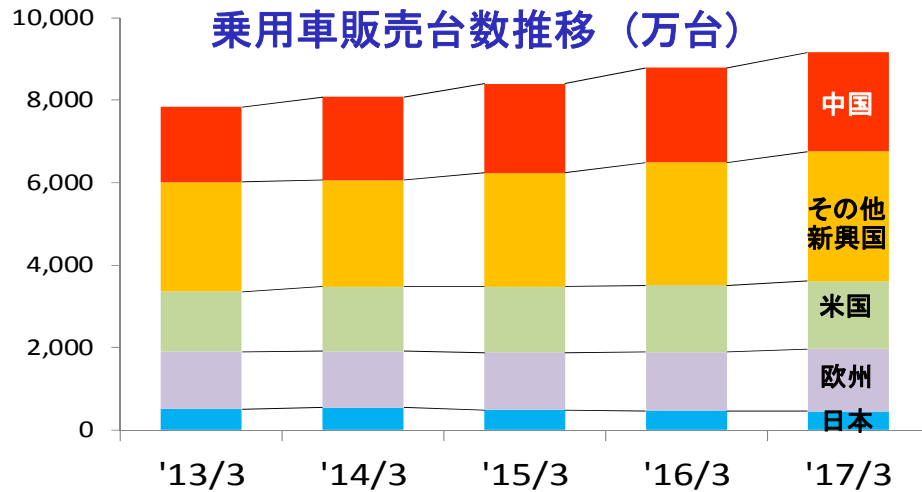
- ・変電がいし製造子会社NGK蘇州(中国)の解散を決定
⇒知多工場へ拠点集約
- ・国内取替需要の取り込みと更なるコストダウンで収益改善

〈ガイシ事業 中期売上イメージ〉



- 自動車関連
 - ・中国・新興国を中心に乗用車販売堅調。
 - 中国・欧州トラック、日米欧オフロードの排ガス規制強化により大型担体・NOxセンサー需要増
 - 競争激化や増産投資の費用が先行し、小幅増益に留まる。
 - ・排ガス規制対応における技術優位性の確立とコストダウンにより収益性を向上。
- 産業プロセス
 - ・国内の設備投資は回復の兆しが見られるものの、依然として低調で急回復は難しく、事業再構築によりスリム化・コストダウンを図る。



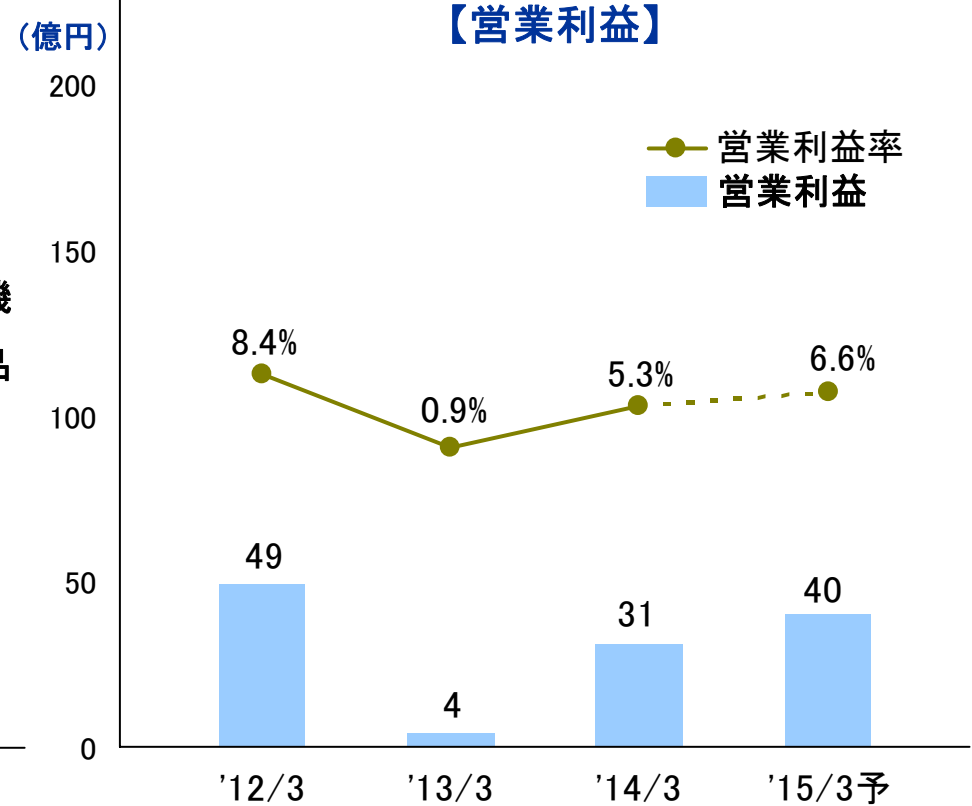
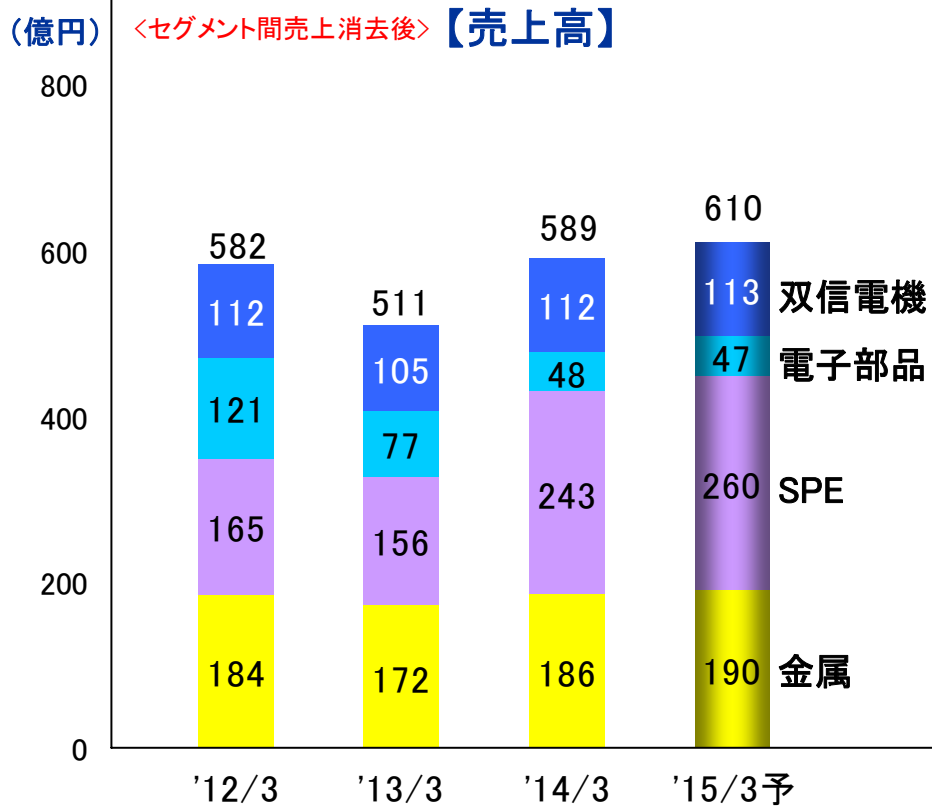


		2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
乗用車	日本	ポスト新長期				(ポストポスト新長期)					
	米国	Tier2/Bin5					(Tier3)				
	欧州	Euro5			Euro6			(Euro7)			
	中国	Euro4		Euro5				(Euro6)			
	インド	Euro4(都市部)、Euro3(他地域)				Euro4					Euro5
トラック バス	日本	ポスト新長期				(ポストポスト新長期)					
	米国	US10					(US16)				
	欧州	Euro V			Euro VI			(Euro VII)			
	中国	Euro III		Euro IV				(Euro V)			
	インド	Euro IV(都市部)、Euro III(他地域)				Euro IV					Euro V
オフロード 建機・農耕機など	日本	JP11			JP14			(JP17)			
	米国	Tier4a			Tier4b			(Tier5)			
	欧州	Step3			Step4			(Step4b)			

中国・欧州のトラック、日米欧オフロードで排ガス規制強化
Cd-DPF・大型担体、NOxセンサーを中心に売上が拡大



- 半導体製造装置用セラミックス(SPE)
 - ・モバイル製品市場の拡大を背景に需要増。
 - ・製品の高性能化とコストダウンに注力。
- ベリリウム銅展伸材(金属)
 - ・中国、インド市場が拡大。新規市場、新規用途により事業拡大を目指す。
- 電子部品
 - ・ウエハー事業を拡大し新製品の早期市場投入を図る。

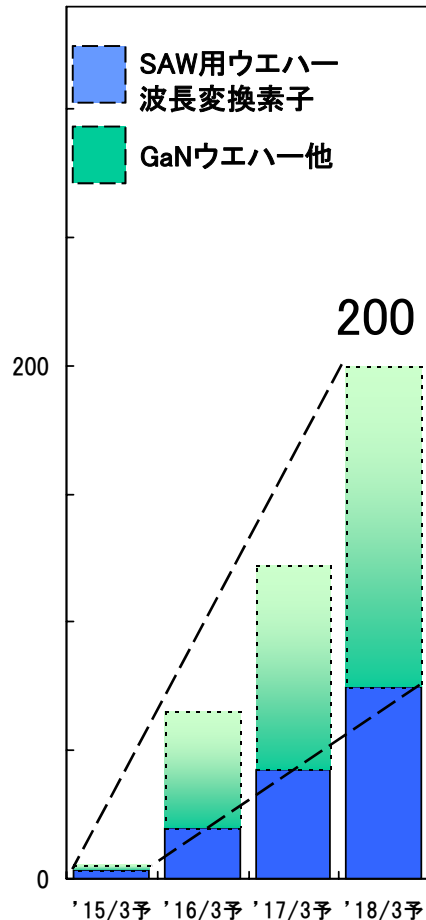


※グラフ内の数値は遡及適用前

複合ウェハー事業化

次の事業化製品

ウェハー新製品の
売上高目標 (億円)



SAWフィルター用 複合ウェハー



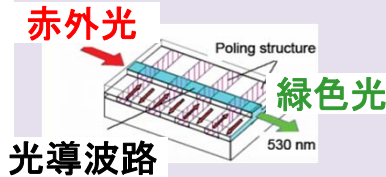
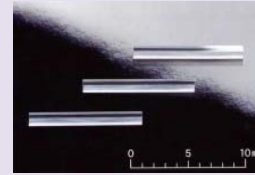
温度変化に対して安定したフィルター機能を維持できるウェハー

SAWフィルター



スマートフォン
タブレット
端末

緑色レーザー光源用 波長変換素子



緑色のレーザー光を波長変換技術で実現する素子

超小型緑色レーザー

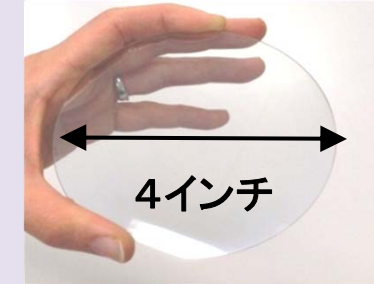


シネマ用
映写機

レーザー
顕微鏡



窒化ガリウム (GaN) ウェハー



消費電力を50%以上削減できる高輝度LED光源を実現可能とするウェハー

- ・高輝度 青色・緑色LED素子
- ・高出力 青色・緑色レーザー
- ・次世代パワー半導体



ビジネス
プロジェクター



店舗照明



ヘッドランプ



電気自動車

適用先

最終用途

①強い事業をより強く — 中長期的な視点での競争力強化

- ▶ ”ものづくり構造革新” の全社推進
- ▶ 新興国の需要拡大に対応したグローバル生産体制の構築
- ▶ 事業再構築の着実な実行(ガイシ・産業プロセス)

② 新製品・新規事業の創出 — 2017 Challenge 30

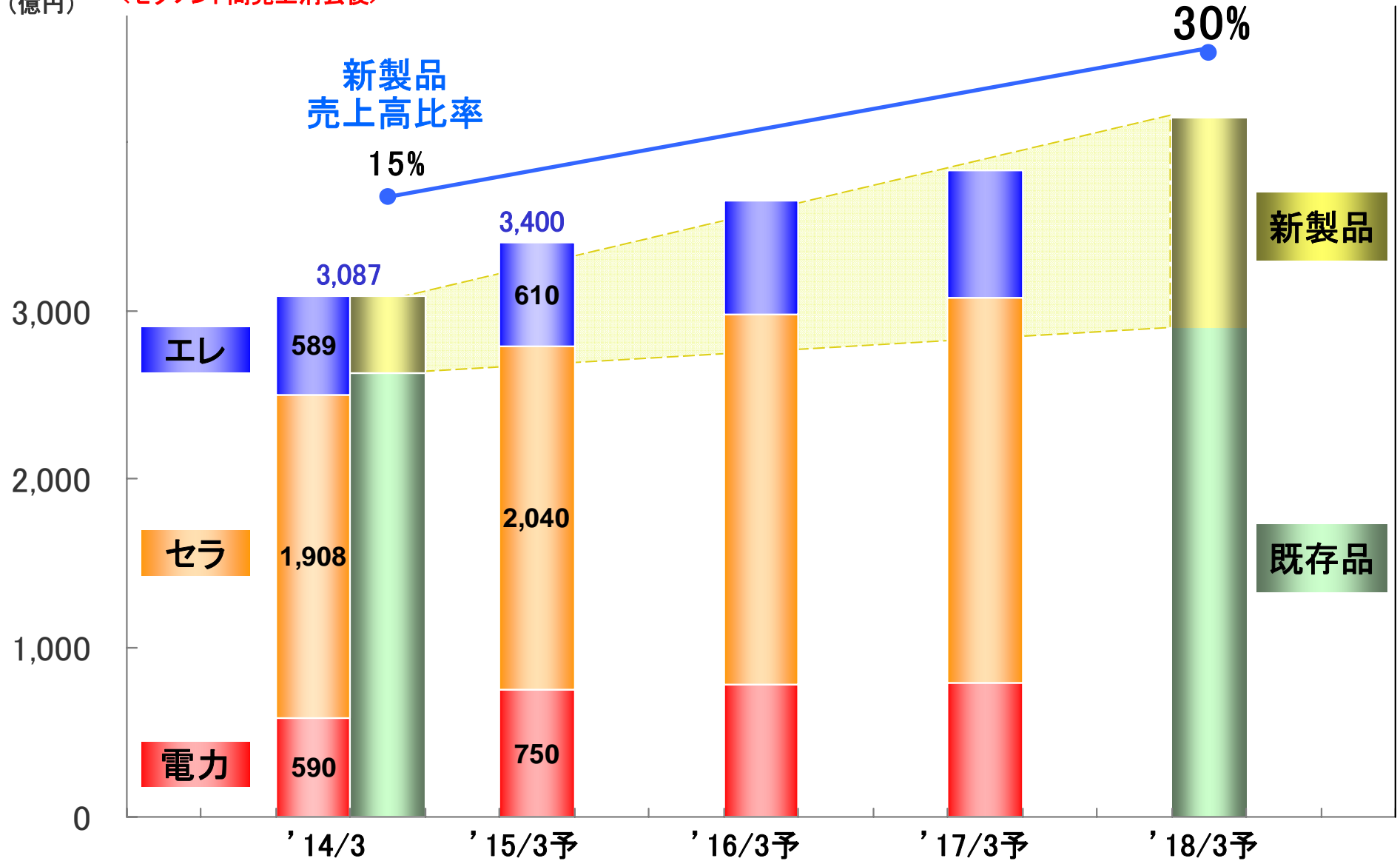
- ▶ ウエハー事業の本格的な立ち上げ
- ▶ 有望な新製品の早期市場投入
- ▶ 探索事業領域の絞り込みと開発テーマの拡大



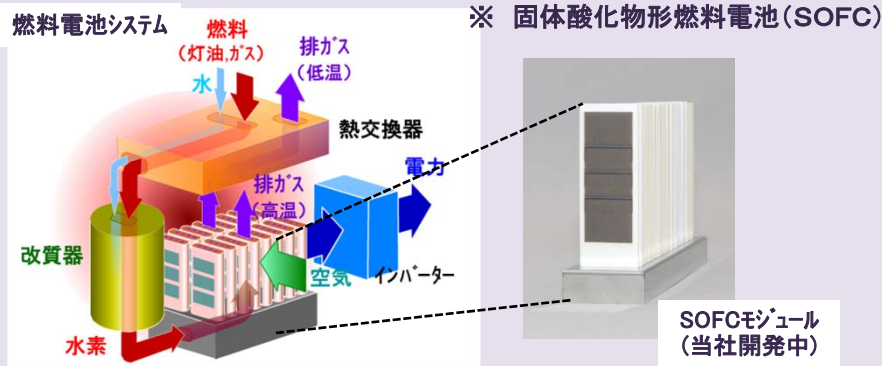
新製品売上高比率の目標

売上高
(億円)

<セグメント間売上消去後>



セラミック製燃料電池※モジュール



サブナノセラミック膜 (DDR膜)



特徴

独自デザインの高效率・高耐久セラミック製発電部品

ガスを燃料として化学反応で電気を作り、
その際に発生する熱でお湯も作れるため省エネが可能

適用先

- ・家庭用燃料電池システム (出力 1kW級)
- ・業務用燃料電池システム (出力 10kW級)

分子サイズの「ふるいの目」を持つ独自のセラミック膜

混合ガスや混合液体から
特定成分のみを分離し、除去や回収が可能

- ・天然ガス、バイオガス等の精製 (CO₂分離)
- ・酢酸、フェノール等の精製 (脱水)

最終用途例

スマートハウス (家庭用燃料電池)



化学プラント (脱水)



進捗

大手燃料電池メーカーで製品化に向け評価中

オンサイト実証試験を開始

超薄型、高エネルギー密度で高温動作可能な全固体電池
「チップ型セラミックス二次電池」を開発

特徴

- ・当社独自の結晶配向技術で作製したセラミックス正極板により、超薄型でありながら300Wh/L以上の高エネルギー密度化が可能
- ・全ての部材が固体であるため、高温動作(120°C)が可能



超薄型、高エネルギー密度で高温動作が可能なることから、回路基板上の半導体部品(IC、メモリー、ダイオード)との隣接実装を実現し、電子デバイスの小型化に寄与

用途



ウェアラブルデバイス



スマートカード



メモリーバックアップ電源

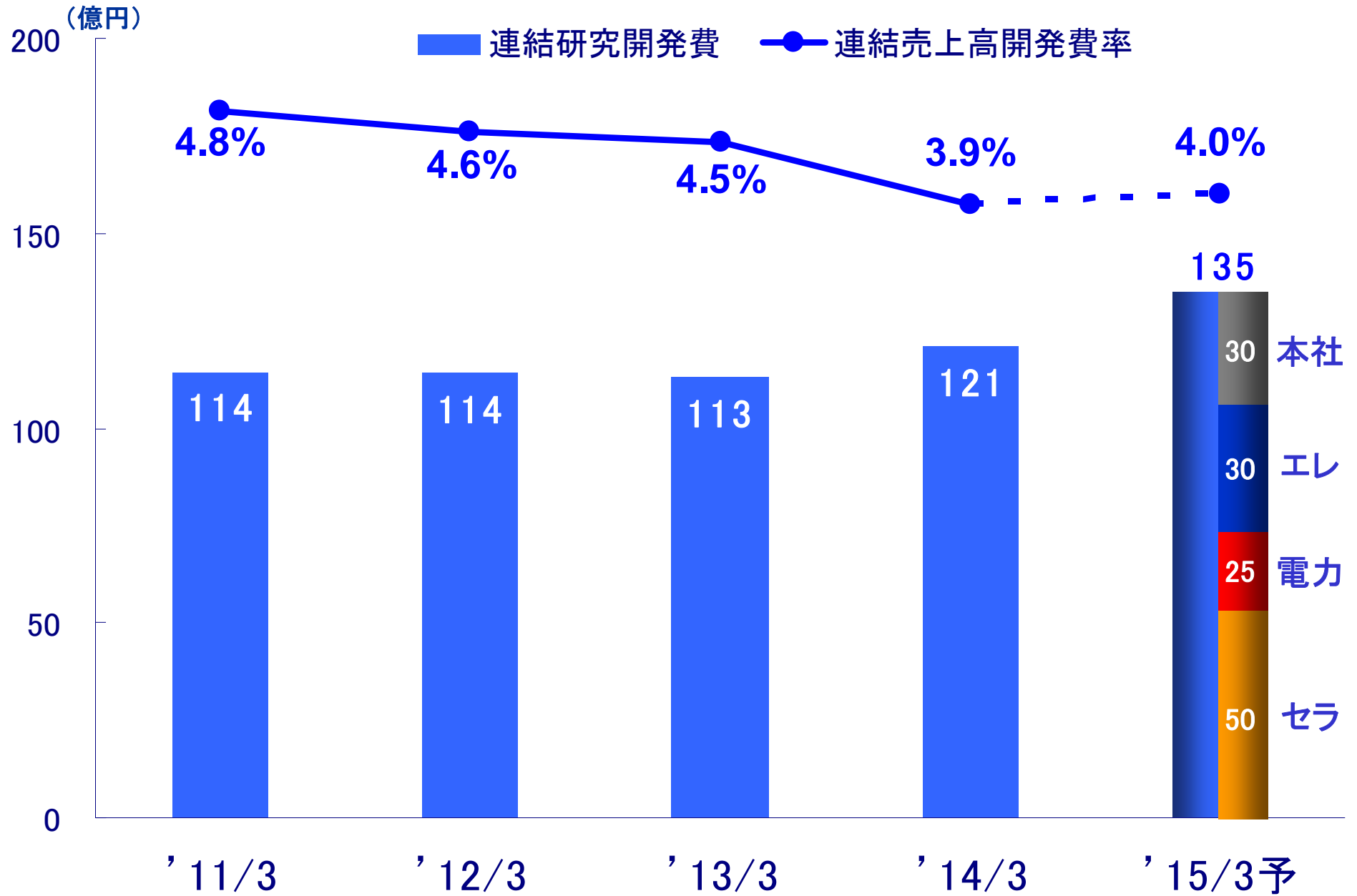


ソーラー腕時計

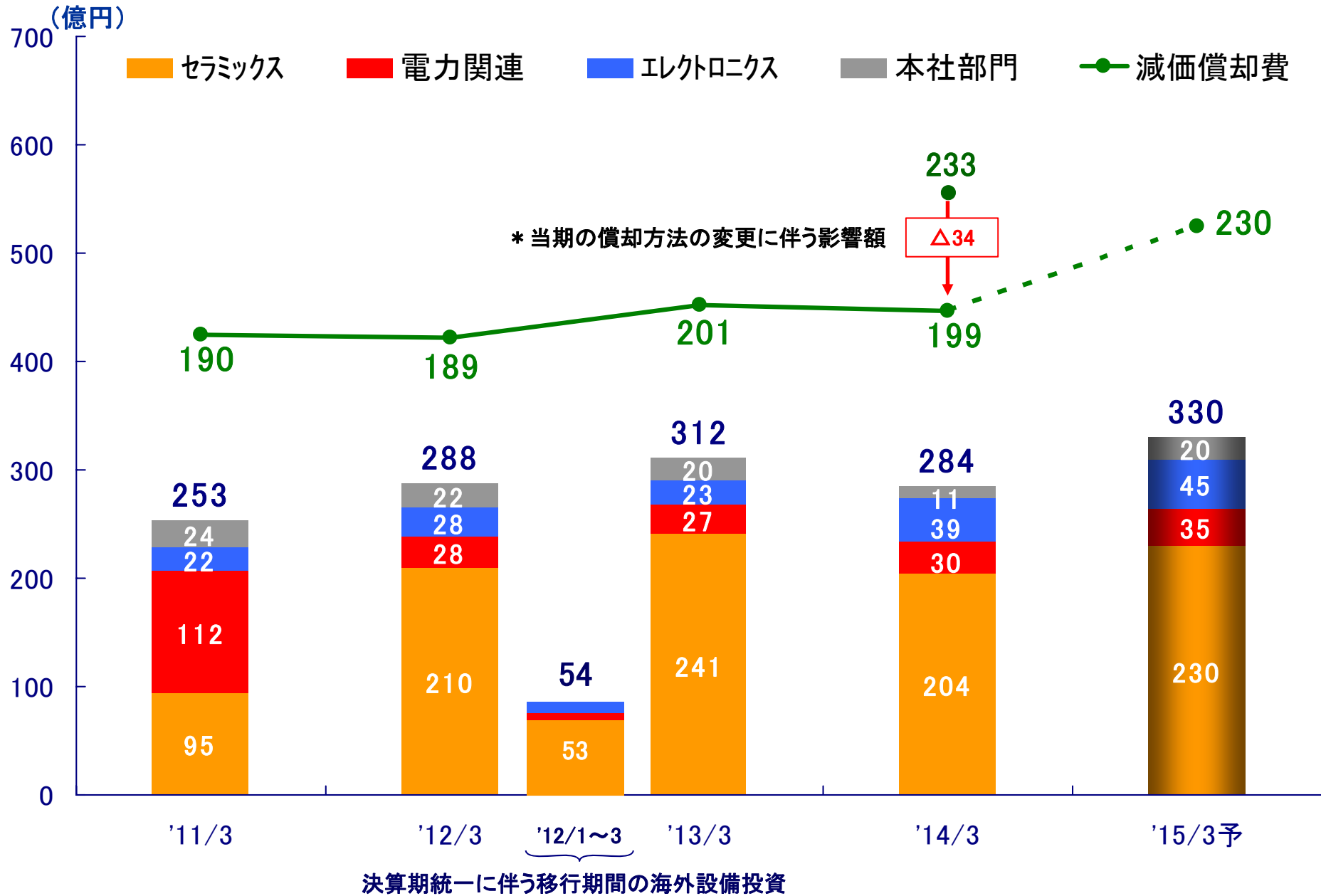
今後

各用途に応じた電池設計、量産技術の確立を行い、2016年度の製品化を目指す

研究開発



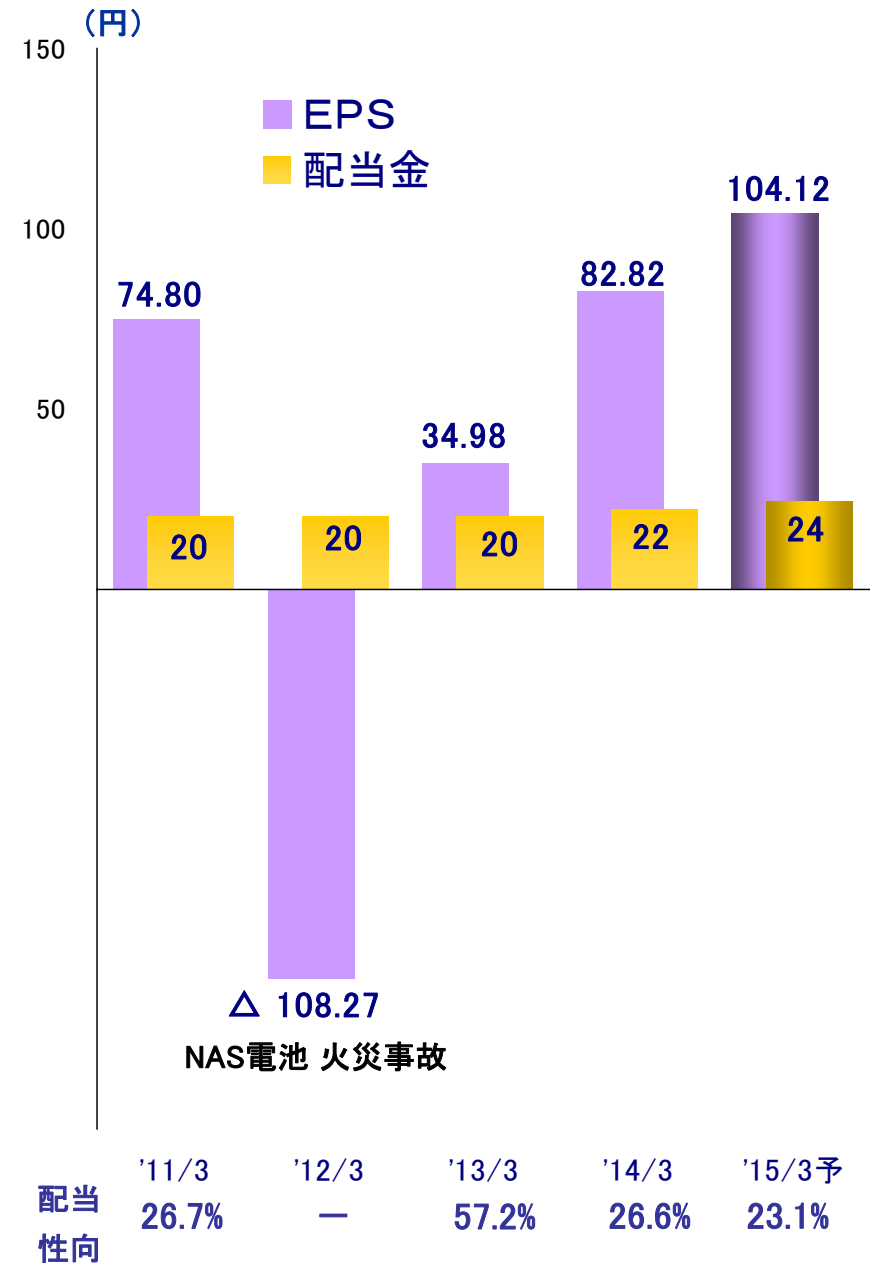
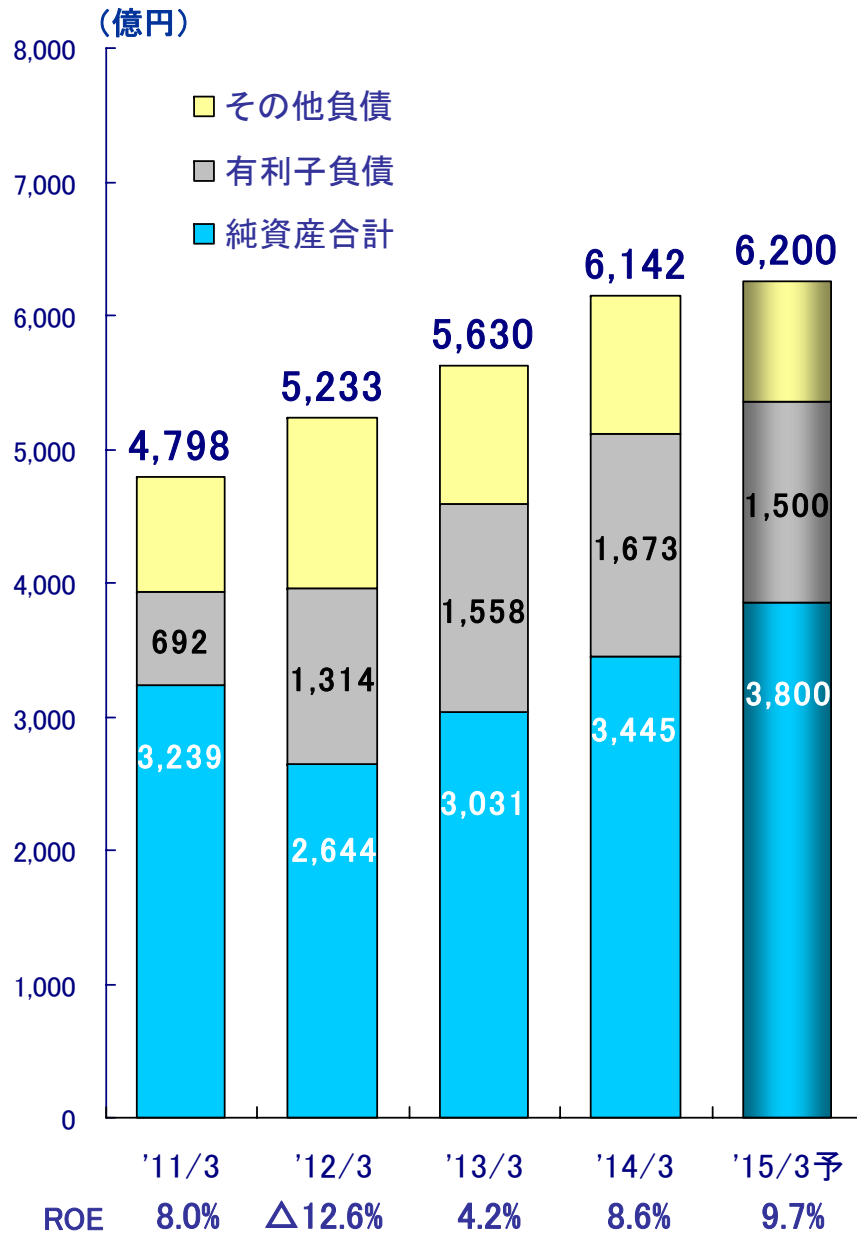
設備投資・減価償却費





(億円)

	' 13/3	' 14/3	' 15/3予
営業活動によるキャッシュ・フロー	37	327	440
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6	△212	△180
財務活動によるキャッシュ・フロー	124	20	△200
現金及び現金同等物に係る換算差額	29	34	△8
現金及び現金同等物の増減額	184	169	52
海外グループ会社決算期移行期間 (' 1 2 / 1 ~ 3) の 増 減 額	△7	-	-
現金及び現金同等物期末残高	1,028	1,198	1,250



事業別売上高(通期)

<セグメント間売上消去後>

(億円)

	12年3月期	13年3月期	14年3月期	15年3月期(予)
が い し	549	576	539	570
N A S	9	1	51	180
電 力 関 連 合 計	558	577	590	750
ハ ニ カ ム	463	506	651	690
S i C - D P F	302	265	376	340
Cd-DPF・大型ハニカム	248	330	518	610
セ ン サ ー	82	101	164	200
産 業 プ ロ セ ス	242	237	199	200
セ ラ ミ ッ ク ス 合 計	1,338	1,440	1,908	2,040
金 属	184	172	186	190
半 導 体 製 造 装 置 セ ラ ミ ッ ク ス	165	156	243	260
電 子 部 品	121	77	48	47
双 信 電 機	112	105	112	113
エ レ ク ト ロ ニ ッ ク ス 合 計	582	511	589	610
全 社 合 計	2,478	2,528	3,087	3,400

※上表の数値は遡及適用前

事業別売上高(上期・下期)

<セグメント間売上消去後>

(億円)

	14年3月期		15年3月期(予)	
	上期	下期	上期	下期
がいし	268	271	260	310
NAS	0	51	60	120
電力関連合計	268	322	320	430
ハニカム	315	336	340	350
SiC-DPF	169	207	170	170
Cd-DPF・大型ハニカム	237	281	300	310
センサー	72	92	90	110
産業プロセス	79	119	80	120
セラミックス合計	873	1,035	980	1,060
金属	91	95	90	100
半導体製造装置セラミックス	104	139	130	130
電子部品	28	20	24	23
双信電機	55	57	56	57
エレクトロニクス合計	277	312	300	310
全社合計	1,418	1,669	1,600	1,800

本資料は当社の経営方針、計画、財務状況等の情報をご理解いただくことを目的としており、当社の株式の購入、売却など、投資を勧誘するものではありません。

本資料に記載されている業績目標及び数値等はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、需要動向などの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績数値は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知置きください。



日本ガイシ株式会社

〒467-8530 名古屋市瑞穂区須田町2-56

IR窓口：財務部 開示グループ

Tel. (052) 872-7212 Fax. (052) 872-7160

E-mail: ir-office@ngk.co.jp

Homepage: <http://www.ngk.co.jp>